

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【公表番号】特表2019-504152(P2019-504152A)

【公表日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-006

【出願番号】特願2018-531612(P2018-531612)

【国際特許分類】

C 09 J	7/26	(2018.01)
C 09 J	7/38	(2018.01)
C 09 J	7/50	(2018.01)
C 09 J	133/00	(2006.01)
C 09 J	121/00	(2006.01)
C 09 J	175/04	(2006.01)
C 09 J	183/04	(2006.01)
C 09 D	5/00	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 08 J	9/32	(2006.01)

【F I】

C 09 J	7/26	
C 09 J	7/38	
C 09 J	7/50	
C 09 J	133/00	
C 09 J	121/00	
C 09 J	175/04	
C 09 J	183/04	
C 09 D	5/00	D
C 09 D	201/00	
C 08 J	9/32	C E R

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月10日(2019.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

押出熱可塑性ポリマー発泡体及びその中に分散した粒子を含む独立気泡発泡体層を含む発泡体接着性物品であって、前記粒子は、

(a) 複数の中空粒子であって、前記中空粒子が、(i)熱可塑性の膨張したポリマー粒子、(ii)非ポリマー粒子、及び(iii)これらの混合物、のうちの少なくとも1つを含む、中空粒子と、

(b) 複数の吸着粒子であって、前記吸着粒子が活性炭を含み、且つ大きい比表面積を有する、吸着粒子と、

を含む、発泡体接着性物品。

【請求項2】

前記複数の非ポリマー粒子は、少なくとも2000psiの破壊強度を有する、請求項

1に記載の発泡体接着性物品。

【請求項3】

前記複数の熱可塑性の膨張したポリマー粒子は、熱可塑性ポリマーシェル及びコアを含み、前記コアは、液体、気体、及びこれらの組み合わせ、のうちの少なくとも1つを含む、請求項1又は2に記載の発泡体接着性物品。

【請求項4】

前記押出熱可塑性ポリマー発泡体は、(a)1種以上の非第三級アルキルアルコールの(メタ)アクリル酸エステルモノマー(前記アルキルアルコールは、1~20個の炭素原子を有する)と、(b)アクリル酸；アクリルアミド；メタクリルアミド；N,N-ジメチルアクリルアミド；イタコン酸；メタクリル酸；アクリロニトリル；メタクリロニトリル；ビニルアセテート；N-ビニルピロリドン；イソボルニルアクリレート；シアノエチルアクリレート；N-ビニルカプロラクタム、無水マレイン酸；ヒドロキシアルキルアクリレート；N,N-ジメチルアミノエチル(メタ)アクリレート；N,N-ジエチルアクリルアミド；-カルボキシエチルアクリレート；ネオデカン酸、ネオノナン酸、ネオペンタン酸、2-エチルヘキサン酸、又はプロピオン酸のビニルエステル；塩化ビニリデン；スチレン；ビニルトルエン；及びアルキルビニルエーテルから選択される1種以上のモノマーとの重合によって形成されるアクリルポリマーを含む、請求項1~3のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項5】

前記独立気泡発泡体層は、感圧性接着剤である、請求項1~4のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項6】

前記独立気泡発泡体層は、感圧性接着剤ではない、請求項1~4のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項7】

感圧性接着剤を含む感圧性接着剤層を更に含み、前記感圧性接着剤層は、前記独立気泡発泡体層の主表面上に配置されている、請求項1~4又は6のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項8】

前記感圧性接着剤は、前記押出熱可塑性ポリマー発泡体層に接着されている、請求項7に記載の発泡体接着性物品。

【請求項9】

前記独立気泡発泡体層と前記感圧性接着剤層との間にプライマー層が配置されている、請求項7又は8に記載の発泡体接着性物品。

【請求項10】

前記感圧性接着剤は、前記独立気泡発泡体層の2つの反対側の主表面上に配置されている、請求項7~9のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項11】

熱可塑性ポリマーマトリックス及びその中に分散した粒子を含む膨張性発泡体前駆体組成物であって、前記粒子は、

(a)複数の熱可塑性膨張性ポリマー粒子と、

(b)複数の吸着粒子であって、前記吸着粒子が活性炭を含み、且つ大きい比表面積を有する、吸着粒子と、

を含む、膨張性発泡体前駆体組成物。

【請求項12】

発泡体接着性物品の製造方法であって、

組成物を押し出して、独立気泡発泡体層を形成する工程を含み、前記組成物は、(i)熱可塑性ポリマーと、(ii)複数の中空粒子であって、前記中空粒子が、熱可塑性膨張性ポリマー粒子、非ポリマー粒子、及びこれらの混合物、のうちの少なくとも1つを含む、中空粒子と、(iii)複数の吸着粒子であって、前記吸着粒子が活性炭を含み、且つ

大きい比表面積を有する、吸着粒子と、を含む、方法。